

xyz 空間内の xy 平面上にある円 $C : x^2 + y^2 = 1$ および円板 $D : x^2 + y^2 \leq 1$ を考える. D を底面とし点 $P(0, 0, 1)$ を頂点とする円錐を K とする. $A(0, -1, 0)$, $B(0, 1, 0)$ とする. xyz 空間内の平面 $H : z = x$ を考える. すなわち, H は xz 平面上の直線 $z = x$ と線分 AB をともに含む平面である. K の側面と H の交わりとしてできる曲線を E とする. $-\frac{\pi}{2} \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$ を満たす実数 θ に対し, 円 C 上の点 $Q(\cos \theta, \sin \theta, 0)$ をとり, 線分 PQ と E の共有点を R とする.

- (1) 線分 PR の長さを $r(\theta)$ とおく. $r(\theta)$ を θ を用いて表せ.
 (2) 円錐 K の側面のうち, 曲線 E の点 A から点 R までを結ぶ部分, 線分 PA , および線分 PR により囲まれた部分の面積を $S(\theta)$ とおく. θ と実数 h が条件 $0 \leq \theta < \theta + h \leq \frac{\pi}{2}$ を満たすとき, 次の不等式が成り立つことを示せ.

$$\frac{h\{\tau(\theta)\}^2}{2\sqrt{2}} \leq S(\theta + h) - S(\theta) \leq \frac{h\{r(\theta + h)\}^2}{2\sqrt{2}}$$

- (3) 円錐 K の側面のうち, 円 C の $x \geq 0$ の部分と曲線 E により囲まれた部分の面積を T とおく. T を求めよ. 必要であれば $\tan \frac{\theta}{2} = u$ とおく置換積分を用いてもよい.

(24 東北大 理系 6)

【答】

(1) $r(\theta) = \frac{\sqrt{2}}{1 + \cos \theta}$

(2) 略

(3) $T = \frac{\sqrt{2}}{2}\pi - \frac{2\sqrt{2}}{3}$

【解答】

- (1) $R(x, y, z)$ は 2 点 $P(0, 0, 1)$, $Q(\cos \theta, \sin \theta, 0)$ を結ぶ直線 PQ 上の点であるから, 実数 t を用いて

$$\begin{aligned} \vec{OR} &= \vec{OP} + t\vec{PQ} \\ &= (0, 0, 1) + t(\cos \theta, \sin \theta, -1) \end{aligned}$$

と表すことができる. R は平面 $z = x$ 上の点でもあるから

$$\begin{aligned} 1 - t &= t \cos \theta \\ \therefore (1 + \cos \theta)t &= 1 \end{aligned}$$

である. $-\frac{\pi}{2} \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$ より $\cos \theta \geq 0$ であるから

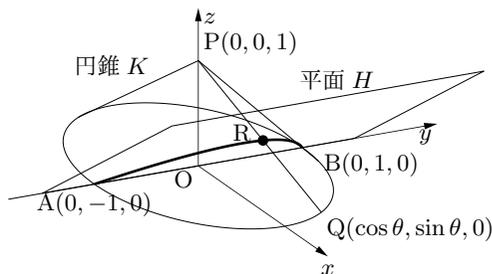
$$t = \frac{1}{1 + \cos \theta} (> 0)$$

である. よって

$$\begin{aligned} r(\theta) = PR &= |t|\vec{PQ}| = \frac{1}{1 + \cos \theta} \times \sqrt{\cos^2 \theta + \sin^2 \theta + (-1)^2} \\ &= \frac{\sqrt{2}}{1 + \cos \theta} \end{aligned}$$

……(答)

である.



(2) 円錐 K の側面の $x \geq 0$ である部分を展開すると半径 $\sqrt{2}$ の扇形となる. $S(\theta)$ は右図の斜線部分の面積である.

$0 \leq \theta < \theta + h \leq \frac{\pi}{2}$ のとき, $h > 0$ である.

$Q'(\cos(\theta + h), \sin(\theta + h), 0)$ とし, PQ' と E の交点を R' とする. 展開図において $h' = \angle QPQ'$ とおくと, $\widehat{QQ'} = \sqrt{2}h'$ である. 一方, C 上で $\widehat{QQ'} = 1 \cdot h = h$ であるから

$$\sqrt{2}h' = h \text{ すなわち } h' = \frac{h}{\sqrt{2}} \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

である. また, $0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$ において $r(\theta)$ は増加するので, 図形 PRR' の面積について

(半径 $r(\theta)$ で中心角 h' の扇形の面積)

\leq (図形 PRR' の面積)

\leq (半径 $r(\theta + h)$ で中心角 h' の扇形の面積) $\dots\dots \textcircled{2}$

が成り立つ. 図形 PRR' の面積は $S(\theta + h) - S(\theta)$ と表すことができるので, $\textcircled{2}$ は

$$\frac{1}{2}\{r(\theta)\}^2 \cdot h' \leq S(\theta + h) - S(\theta) \leq \frac{1}{2}\{r(\theta + h)\}^2 \cdot h'$$

となり, $\textcircled{1}$ を代入すると

$$\frac{h\{r(\theta)\}^2}{2\sqrt{2}} \leq S(\theta + h) - S(\theta) \leq \frac{h\{r(\theta + h)\}^2}{2\sqrt{2}} \quad \dots\dots \textcircled{2}'$$

となる.

$\dots\dots$ (証明終わり)

(3) $h > 0$ のとき, $\textcircled{2}'$ の両辺を h で割ると

$$\frac{\{r(\theta)\}^2}{2\sqrt{2}} \leq \frac{S(\theta + h) - S(\theta)}{h} \leq \frac{\{r(\theta + h)\}^2}{2\sqrt{2}}$$

となる. $r(\theta)$ が連続であることより

$$\lim_{h \rightarrow +0} \frac{\{r(\theta + h)\}^2}{2\sqrt{2}} = \frac{\{r(\theta)\}^2}{2\sqrt{2}}$$

であるから, はさみうちの原理より

$$\lim_{h \rightarrow +0} \frac{S(\theta + h) - S(\theta)}{h} = \frac{\{r(\theta)\}^2}{2\sqrt{2}} \quad \dots\dots \textcircled{3}$$

である. また, $0 \leq \theta + h < \theta \leq \frac{\pi}{2}$ のときは, $h < 0$ より $-h > 0$ であるから, (2) と同様にして

$$\frac{-h\{r(\theta + h)\}^2}{2\sqrt{2}} \leq S(\theta) - S(\theta + h) \leq \frac{-h\{r(\theta)\}^2}{2\sqrt{2}}$$

が成り立ち, 両辺を $-h (> 0)$ で割ると

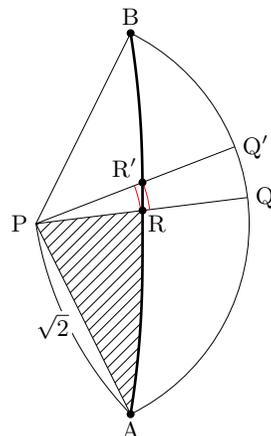
$$\frac{\{r(\theta + h)\}^2}{2\sqrt{2}} \leq \frac{S(\theta + h) - S(\theta)}{h} \leq \frac{\{r(\theta)\}^2}{2\sqrt{2}}$$

となり, はさみうちの原理より

$$\lim_{h \rightarrow -0} \frac{S(\theta + h) - S(\theta)}{h} = \frac{\{r(\theta)\}^2}{2\sqrt{2}} \quad \dots\dots \textcircled{3}'$$

である. $\textcircled{3}$, $\textcircled{3}'$ より

$$\lim_{h \rightarrow 0} \frac{S(\theta + h) - S(\theta)}{h} = \frac{\{r(\theta)\}^2}{2\sqrt{2}}$$



すなわち

$$S'(\theta) = \frac{1}{\sqrt{2}(1 + \cos \theta)^2}$$

である。これは $-\frac{\pi}{2} \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$ のときも成り立つ。

円錐 K の側面のうち、円 C の $x \geq 0$ の部分と曲線 E により囲まれた部分の面積 T は

$$\begin{aligned} T &= (\text{扇形 PAB の面積}) - S\left(\frac{\pi}{2}\right) \\ &= \frac{1}{2}(\sqrt{2})^2 \cdot \frac{\pi}{\sqrt{2}} - \int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} S'(\theta) d\theta \\ &= \frac{\pi}{\sqrt{2}} - \frac{1}{\sqrt{2}} \int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} \frac{1}{(1 + \cos \theta)^2} d\theta \end{aligned}$$

ここで、 $\tan \frac{\theta}{2} = u$ とおくと $\frac{\theta}{2} \left| \begin{array}{l} -\frac{\pi}{2} \rightarrow \frac{\pi}{2} \\ -1 \rightarrow 1 \end{array} \right.$ であり

$$\begin{aligned} \frac{1}{\cos^2 \frac{\theta}{2}} \cdot \frac{1}{2} d\theta &= du \\ \therefore d\theta &= 2 \cos^2 \frac{\theta}{2} du = \frac{2}{1 + \tan^2 \frac{\theta}{2}} du = \frac{2}{1 + u^2} du \end{aligned}$$

また

$$1 + \cos \theta = 2 \cos^2 \frac{\theta}{2} = 2 \cdot \frac{1}{1 + \tan^2 \frac{\theta}{2}} = \frac{2}{1 + u^2}$$

であるから

$$\begin{aligned} \int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} \frac{1}{(1 + \cos \theta)^2} d\theta &= \int_{-1}^1 \left(\frac{1 + u^2}{2}\right)^2 \cdot \frac{2}{1 + u^2} du \\ &= \frac{1}{2} \int_{-1}^1 (1 + u^2) du \\ &= \frac{1}{2} \cdot 2 \left[u + \frac{u^3}{3} \right]_0^1 \\ &= \frac{4}{3} \end{aligned}$$

である。
よって

$$T = \frac{\pi}{\sqrt{2}} - \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{4}{3} = \frac{\sqrt{2}}{2} \pi - \frac{2\sqrt{2}}{3} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。